

第6節 流通機能

[第1項]

流通機能の充実

現況と課題

■圏央道整備に向けた物流拠点の整備

本市は、東金から南房総に向かう国道128号、木更津から成田に向かう国道409号、首都圏と結ぶ千葉外房有料道路の3路線及びJR外房線が交通の骨格を形成しており、この交通体系の中で社会経済活動の中心は、特に首都東京からの鉄道・道路により展開されています。

今後、圏央道の整備及びそれに関連するアクセス道路の整備により、西日本方面及び北日本方面との新たな主要幹線軸が形成されます。また千葉県が進める新産業三角構想の幕張新都心、かずさアカデミアパーク*、成田空港などの拠点との連携が深まり、新たな人や物の交流拠点並びに広域交通拠点としての地理的優位性が高まり、広域的な社会経済活動が期待されます。

基本方針

圏央道に設置予定されている市内2か所のインターチェンジを活用し、周辺地区の計画的な土地の有効活用を図り、物流拠点の形成を目指します。

◆施策体系

流通機能の充実

圏央道整備に向けた物流拠点の整備

事業計画

■圏央道整備に向けた物流拠点の整備

「茂原にいはる工業団地」及びインターチェンジ周辺地区の物流拠点の立地環境整備を進めます。